

インテレクチャル・カフェ広島

－ 若手研究者を核とした「知」の融合 －



<開催趣旨>

広島地域における大学の若手研究者と、産業界・金融機関・行政等が交流し、
新技術・新製品の開発や新事業を生み出すネットワークの形成を目指します。

<日程>

日 時 : 平成22年12月9日(木) 17:45~19:45
場 所 : ひろしまハイビル21(17階)(広島市中区銀山町3-1)
定 員 : 70名程度
参加会費 : @2000円
主 催 : 中国地域産学官連携コラボレーション会議(県立広島大学)

<概要>

17:45~17:50 開会挨拶 県立広島大学 学長 赤岡 功
17:50~18:10 話題提供 「音声信号に対する騒音除去のための新たなデジタルフィルタの開発」
(県立広島大学 経営情報学部 生田 顕 教授)
18:10~18:30 話題提供 「低糖のジャム、ベビーフード、えん下補助食品の創出」
(県立広島大学 生命環境学部 佐藤 之紀 准教授)
18:40~19:45 交流会(軽食と飲み物による立食形式)



[会場アクセス] JR 広島駅から
市内電車・バス(市内線)
銀山町電停前すぐ

話題提供の概要

1 音声信号に対する騒音除去のための新たなデジタルフィルタの開発

生田 顯 (県立広島大学 経営情報学部教授)

テレビ会議、携帯電話、自動翻訳等の音声認識の分野で、騒音除去のためのデジタルフィルタは必須の技術である。確率のベイズ原理に基づいた新たな確率的信号処理を応用したアルゴリズムの研究開発により、従来にない画期的な騒音除去のためのデジタルフィルタの可能性を見出した。これにより、音声認識技術の更なる発展に寄与することが期待される。

2 低糖のジャム、ベビーフード、えん下補助食品の創出

佐藤之紀 (県立広島大学 生命環境学部准教授)

従来のジャム製造では、高メトキシルペクチンを用いる場合が多いため、糖と酸が必要であった。しかし、ある種のアミノ酸には増粘効果があり、さらに濃度を上げるとゲル化することを初めて見出した。これを利用すると、無糖または低糖ジャムの創出のほか、ベビーフード、えん下困難者用食品についても幅広く利用できる。

◆申 込 先◆ 県立広島大学 地域連携センター 行き

(F A X : 0 8 2 - 2 5 1 - 9 4 0 5

(E - m a i l : saekit@pu-hiroshima.ac.jp 佐伯宛

◆問い合わせ先◆

中国地域産学官連携コラボレーション会議 (県立広島大学)

県立広島大学地域連携センター TEL : 082-251-9534 担当 : 佐伯

※ お申し込みの際にご提供いただきました個人情報は、申込み確認、次回以降のインテレクチャル・カフェのご案内以外には使用いたしません。

インテレクチャル・カフェ 参加申込書

会社名(団体名)	
住 所	〒
連絡担当者	担当者氏名
	(TEL) _____ (E-mail) _____

【参加者】

部 署	役 職	氏 名